

緊急の
お知らせ

各地で不適正な点検や高額請求の被害が多発しています！

消防器の訪問点検に ご注意！

点検を承諾する前に必ず契約業者であるかを確認しましょう。

契約業者でない場合は…

トラブル防止のポイント

身分証明書等の
提示を求める。

はっきりと点検を
拒否する。

契約書にハンコ
を押さない。

不適正な点検や高額請求をする点検業者が、
居直ったり、脅迫的な言動に出た時は、近く
の警察署、消防署に通報してください。



本社のほうで言われて
消防器の点検に来ました。

では、すぐに消防器の
点検を始めますから…。

ハンコがあればこっちのもんさ…

この契約書にサインか
ハンコをお願いします。

点検業者の手口は…

特に消防器をたくさん設置している
防火対象物を狙ってきます。

- 支店、出張所等の出先が多い事業所等。
- スーパー・百貨店等。
- 私立の学校、幼稚園等。

出入りの点検業者を巧妙に装います。

- 訪問前に電話をかけて信用させます。
- 本社などからの依頼のように装います。

点検の承諾をあいまいにすると、
素早く消防器を集めだします。

- 正規の契約業者の点検内容をみて、点検
の理由をでっちあげます。

内容を説明せず、一見合法的な書面に
署名、押印を求めてきます。

- 点検等の理由づけが記入された一見合
法的に見える契約書を提示してきます。

総務省消防庁
財団法人日本消防設備安全センター
各都道府県消防設備保守協会



点検業者のあの手この手…



【私立高校の事例】

休日、学校に電話があり、「今から消火器の点検に行きます。」と言うので、いつもの点検業者だと思い承諾した。数分後に3人が事務所窓口に来たので事務員がサインをした。

2時間後に集金にくるというので内容を確かめたところ、高額であることに驚き、警察や弁護士に相談した。騙されたのだから支払いの義務はないとの見解だったが、その点検業者から、裁判所に訴えるなどの脅迫的な言動もあり、後々面倒と思い支払うこととした。

●請求額／消火器65本 詰替 1,477,000円

トラブル事例①

【薬品会社の事例】

「消火器の点検に来ました。」と言って窓口の女子事務員に契約書にサインを求め、消火器32本を集め持ち去った。数時間後、消火器を持参、薬剤詰替え代金の支払いを求められたが、不当に高額であったため社内で問題となり紛糾した。

会社の信用問題もあるので、不当な請求を承知の上で支払いをした。

●請求額／消火器32本 詰替 516,000円

トラブル事例②

【運送会社の事例】

「消火器の点検に来ました。」と作業着を着た3人が会社窓口に現れ、出入りの点検業者だと思い点検をお願いし、契約書の内容もよく見ずにサインをした。

他の社員が、いつもの点検業者と違うことに気づき、中止を求めたが、もう点検しているからと、点検料金を請求された。抗議をしたが、点検業者は契約書のサインの有効性を主張し、紛糾した。脅迫的な言動もあり、会社の信用を考え支払う約束をした。

●請求額／消火器30本 機能点検 315,000円

トラブル事例③

【電力関係会社の事例】

会社から離れた場所にある倉庫に、「消火器の点検に来ました。」と言って消火器を集めて持ち去った。その際、契約書にサインを求められたが、預り書と思いサインをした。数時間後、騙されたことに気づき、会社に連絡した。出入りの点検業者と誤認して承諾したものであるため、警察、弁護士と相談の上、「支払わない。」とその点検業者に伝えた。消火器は、その点検業者が持ち去ったままになっている。

●請求額／消火器9本 詰替 233,000円

トラブル事例④

もし、気づかずサインや点検の承諾をしてしまっても…

- 請求金額の値引きを要求すると、契約を認めることとなるので言わない。
- 料金をその場で支払ったり、払う約束は絶対にしない。
- 点検業者のまぎらわしい表現等に対して、契約の無効を主張する。



消火器の点検は、消防設備士または消防設備点検資格者に！

